

解答上の注意

1. 問題用紙 2 枚, 答案用紙 3 枚.
2. 答案用紙にはそれぞれ氏名と学籍番号を明記すること.
3. 答案用紙は裏面を使ってもよい. その場合は「裏へ」と明記すること.
4. 答案の並びは問題番号の並びと違っていてもよい. 問題番号を明記すること.
5. 持ち込み不可.

問題 1

以下が成り立つことを示せ. ただし $\varphi(x, y, z)$ はスカラー関数, $A(x, y, z)$, $B(x, y, z)$ はベクトル関数とする.

- (1) $\nabla \cdot (\nabla \times A) = 0$
- (2) $\nabla \times (\varphi \nabla \varphi) = 0$
- (3) $\nabla \cdot (A \cdot B) = (A \cdot \nabla)B + (B \cdot \nabla)A + A \times (\nabla \times B) + B \times (\nabla \times A)$
- (4) $\nabla \times (\nabla \times A) = \nabla(\nabla \cdot A) - \nabla^2 A$

問題 2

密度一定の理想流体の運動方程式と連続の式 (質量保存則) は, 以下の方程式で記述される.

$$\begin{aligned} \frac{\partial \mathbf{v}}{\partial t} + (\mathbf{v} \cdot \nabla) \mathbf{v} &= \nabla \left(\frac{p}{\rho} \right), \\ \nabla \cdot \mathbf{v} &= 0. \end{aligned}$$

ここで $\mathbf{v} = \mathbf{v}(x, y, z, t)$ は速度ベクトル, p, ρ はそれぞれ圧力と密度である.

- (1) 渦無し流の場合 ($\nabla \times \mathbf{v} = 0$) の場合, スカラー関数 $\phi(x, y, z, t)$ を用いて $\mathbf{v} = \nabla \phi$ と書ける. このときスカラー関数 ϕ は

$$\nabla^2 \phi = 0$$

を満たすことを示せ.

- (2) 定常な渦無し流の場合, 運動方程式から

$$\frac{1}{2} v^2 + \frac{p}{\rho} = \text{一定}$$

が導かれることを示せ. ここで $v = |\mathbf{v}|$ である (ヒント: 問題 1 (3) を用いる.)

問題 3

熱は温度の高い所から低い所へ向かって輸送される. このとき単位面積を単位時間に通過する熱 q (単位: $\text{J m}^{-2} \text{sec}^{-1}$) は

$$q = -k\nabla T$$

と表される. ここで k は熱伝導率 (単位: $\text{J K}^{-1} \text{m}^{-1} \text{sec}^{-1}$) である. 熱輸送が熱伝導によってのみ行われる場合, 温度変化は以下の式で表されることを示せ.

$$\frac{\partial T}{\partial t} = \kappa \nabla^2 T.$$

ここで κ は熱拡散率で, 物体の密度 ρ と単位質量あたりの比熱 c_p (単位: $\text{J K}^{-1} \text{kg}^{-1}$) を用いて $\kappa = k/\rho c_p$ と表される.

問題 4

閉曲線 C に沿って発生する電場を E とすると, ファラデーの電磁誘導は

$$\int_C \mathbf{E} \cdot d\mathbf{r} = -\frac{\partial \Phi}{\partial t}$$

と表される. ここで Φ は C によって囲まれた曲面 S を貫く磁束である. Φ は磁束密度 B を用いて $\Phi = \int_S \mathbf{B} \cdot \mathbf{n} dS$ と表されることを用いて, 微分形ファラデーの電磁誘導の法則

$$\nabla \times \mathbf{E} = -\frac{\partial}{\partial t} \mathbf{B}$$

を求めよ.